

平成 27 年 7 月 22 日（水）14 時配布
公益財団法人つくば科学万博記念財団
つくばエキスポセンター

科学万博-つくば' 85 30 周年記念行事 入館者 500 万人達成セレモニーについて

公益財団法人つくば科学万博記念財団（理事長：田中 敏、所在地：茨城県つくば市吾妻 2 丁目 9 番地、TEL：029-858-1100、以下、財団という）は、「科学万博-つくば' 85（正式名称：国際科学技術博覧会）」の意義や成果を継承する財団として、1986 年（昭和 61 年）3 月 28 日に設立されました。以来約 30 年にわたり、つくばエキスポセンター※1（以下、センターという）を拠点に、科学技術の理解増進、人材育成、国際交流の促進など、科学技術の振興に寄与する事業に取り組んでいます。

「科学万博-つくば' 85」の開催から 30 周年の 2015 年夏に、センターの入館者が、開館以来、500 万人を達成します。ご利用いただいている多くの皆様に感謝の気持ちを込めて、入館者 500 万人達成セレモニーを下記の通り実施いたします。

<概要>（予定）

- 日 時： 平成 27 年 7 月下旬から 8 月上旬
※日時が決定しましたら、HP などで別途お知らせいたします。
- 場 所： つくばエキスポセンター 1 階エントランスホール
- 内 容： 500 万人達成アナウンス
(約 20 分) 500 万人来館者インタビュー
理事長挨拶
くす玉
記念品贈呈
記念撮影

<問い合わせ先>

公益財団法人つくば科学万博記念財団（つくばエキスポセンター）
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 2 丁目 9 番地 TEL：029-858-1100（代表）
イベントに関する問い合わせ：運營業務部 殿岡／菊地
リリースおよび取材に関する問い合わせ：企画調整室 西島／小林

※1 つくばエキスポセンター（1986 年 4 月 18 日開館）

<「つくばエキスポセンター」について>



つくばエキスポセンターは、1985年に筑波研究学園都市で開催された国際科学技術博覧会（科学万博-つくば85）の第二会場、日本政府出展施設でした。主会場とシャトルバスで結ばれ、わが国における科学技術の研究開発の現状を紹介する施設として建設されました。万博当時、1階にはこども向け展示室、2階には研究活動展示のサイエンスフォーラム、AVホールが設置されました。コズミックホール（現在のプラネタリウムホール）は当時世界最大（直径25.6m）で、高品位テレビ大画面（タテ4.8m×ヨコ25.6m）を備え、会議、映像展示、プラネタリウムを上映する、多目的映像ホールとして使用されました。

博覧会終了後の翌年（1986年4月18日）に科学館として再開館し、現在館内には万博当時の展示物を一部残しているほか、「科学万博-つくば'85メモリアル」に当時の関連資料を常設展示しています。

また、世界最大級（ドーム直径25.6m）のプラネタリウムを始め、展示場では科学技術がひらく明るい未来を子どもから大人まで分かりやすく紹介しています。サイエンスショーや科学教室等のイベント開催にも力を入れており、子どもたちの好奇心を大切に、体験や遊びを通じて科学の楽しさを体感できる施設を目指しています。

名 称：	つくばエキスポセンター
館 長：	田中 敏（たなか さとし）
所 在 地：	〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2丁目9番地
開館時間：	9時50分～17時（12・1月の平日のみ16時30分閉館） ※入館は閉館30分前まで。
入館料：	入館券 おとな410円、こども210円 プラネタリウム券（入館含む） おとな820円、こども410円 ※おとな：18歳以上、こども：4歳～高校生、3歳以下無料
休館日：	毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休）、月末最終火曜日、 年末年始 夏休み期間中（7月18日（土）～8月31日（月））は全日開館
アクセス：	【つくばエクスプレスを利用】 [つくば駅]（終点）下車。A2出口より徒歩5分（秋葉原⇄つくば間快速45分）。 【自動車を利用】 ・常磐自動車道 [桜土浦IC] 経由、約15分。 ・圏央道 [つくば中央IC] 経由、約10分。 ※駐車場有（60台）、土日祝・繁忙期有料。
問い合わせ：	TEL：029-858-1100（代）、FAX：029-858-1107 029-858-1678（団体利用受付）
HP URL：	http://www.expocenter.or.jp/

<「科学万博-つくば' 85」について>

正式名称	国際科学技術博覧会（日） The International Exposition, Tsukuba, Japan, 1985（英）
一般表記	科学万博-つくば' 85（日） TSUKUBA EXPO' 85（英）
テーマ	人間・居住・環境と科学技術（日） Dwellings and Surroundings - Science and Technology for Man at Home（英）
会期	1985年（昭和60年）3月17日（日）～9月16日（月）（184日間）
開催場所	茨城県筑波研究学園都市（現つくば市御幸が丘（みゆきがおか））
会場面積	約100ヘクタール
シンボルマーク	 <p>■国際科学技術博覧会シンボルマーク 宇宙、地球、人間、科学、芸術などの理想的な未来像をイメージしている。三角形の頂点につくばの峰を象徴し、三辺は博覧会のテーマ「人間、居住、環境」の断面。並行する二つの輪は、人間と科学との調和した軌道を表す。</p>
マスコットマーク	 <p>■国際科学技術博覧会マスコットマーク 全国の小・中学生からの公募により決定されたもの。愛称「コスモ星丸」。科学万博の楽しさ、親しみを表現し、キャラクターとしても喜ばれるものを選定し、修正を加えて決定した。</p>
成果	<p>海外から47か国、37国際機関、国内から日本政府のほか、28企業・団体の出展を得るとともに、内外から2,000万人を超える観客の入場を得、国際博覧会条約に基づく特別博覧会として、史上最大の規模のものとなった。</p> <p>① 内外の人々が科学技術に対する理解を深める絶好の機会を提供 ② 科学技術を通じて国際親善に貢献する場として大きな役割を果たした ③ 都市としての基盤整備が進んだ（常磐自動車道、工業団地の誕生など） ④ 新技術への貢献（新技術の開発・展示、専用ラジオ放送局の設置など）</p> <p>（科学技術庁1986年（昭和61年）3月31日発行、「国際科学技術博覧会政府公式記録」より）</p>

※科学万博会場跡地は筑波西部工業団地として整備されましたが、その一部は科学万博記念公園として残されています。